

ほんにかえるプロジェクト会報 2016年1月創刊

かえるのうた

第29号 2024・5月

ほんにかえるプロジェクト発行
編集責任者：大塩志野



A.M



手を動かすこと

大塩志野

会員の皆さまが時折送ってくださるお手紙の中には、かなりの割合で作業の紹介があります。

溶接、縫製、アイロンがけ、注連飾りをはじめとした工芸品制作、木工などの作業工程をととても詳細に書いてくださいます。わたしは、それらの作業が行われている光景を勝手に想像して楽しんでいます。

また、作業をまとめる班長やリーダーに就任したことや、作業をする中でのトラブルのことも興味深く読ませていただき、どんな場所にも、人間関係はつきものなのということもつくづく感じています。

わたしの職場は、知的障がいのある方たちに作業を提供し、工賃をお渡しするB型作業所です。地域の町工場などからの受注作業が中心となり、住宅建材の金具の組み立てや梱包も主要なお仕事なのです。作業そのものは知的障がいのある利用者が行いますが、納品前の検品は必ず私たち職員が行います。異動してきたばかりの頃は、福祉業界でこんな金具を一日相手することがあるのかと驚きましたが、慣れてくるととても親しみが湧いてくるのです。

福祉職は人に直接対峙する感情労働だとよく言われます。人の感情をストレートに受ける場面が多く、自分の感情も波立つのでアンガーマネジメントやメンタルヘルスは重要な職業スキルとなります。その中において、金具の検品はしばしの異空間であり、気分転換の効果もあり、手を使う単純作業の中に癒し

作用があるなあなんて思っています。

先日、わたしの母が左手を骨折してしまいました。幸い入院するほどではなく少しほっとしたのですが、顔を見に行くと「大丈夫よ、でも片手が使えないのはまったく不便ねえ」| 1としょんぼりしていました。老いてはきていても一人で生活し、整容、料理、洗濯、買い物などしていたのが難しいと。介護保険で使えるサービスはすぐに問い合わせることを話し、今は介護用品もかなり充実しているのでいろいろと買ってきて、なんとかなりそうかなと帰宅しました。

それにしても人間の営みとは、実に手を使うことですね。朝起きて顔を洗い、洋服を着替え、ご飯を作り、ご飯を食べて、お皿を洗い、洗濯をし、干して、たたむ、一息ついて新聞や本のページをめくる、手紙を書く、たわいもない日常生活も手にとってはとても忙しいです。

仕事・作業はさらに専門的に手を動かすことです。溶接、縫製、アイロンがけ、工芸品製作、木工は誰かに役立つことだったり、誰かが喜ぶものを作ったりすることです。金具の組み立て、検品もそうです。自分の手を使い、自分の仕事でありそれでお給料もいただきますながら、その目的は自分以外に向けられます。作業をする中で人間関係の摩擦もあり、トラブルもあることは社会的であることの表れなのでしょう。

あらためて、会員の皆さまがこつこつと手を動かしている様子を思い浮かべます。自分のためだけではない作業は結果的には自分の心を無にし、作業は世の中につながっていることを思っています。



おかえりなさい Part II

出所後生活保護をうけるまで

今井雄基

今回は、自分が、NPO 施設に入居、生活保護を受けた経緯を書きます。

まず M 刑より出所後 2 週間位は足が地につかず、毎日ビジネスホテルに泊まっていたが、食費などを合わせると、1 日 1 万円チョイかかる為、生活保護でも受けて家でも借りなければと思い、なんの縁もなかったですが、K 県 K 市の区役所に行き、「刑務所から出てきた、3 万円位しか無い、家を借りて生活保護を受けたい」と申し出ました。ここで、初めて知ったのですが、生保は、生活拠点がその地になければいけないとの事、だからまず寝泊まりする場所をきめなければならない。

自治体によっては、緊急用のアパートなどが 1、2 か月単位で入らせてくれる所もあるようですが、K 市には、残念ながら無く、NPO 法人の運営する施設を紹介されました。

紹介と言ってもその市町村内にある施設を教えてくれ、その中から自分が選ぶ形でした。ただ、K 市の自分が当たった。担当さんが、結構お話のわかる人で、各施設の内情を教えてくれ、ここが 1 番マシというのを、それとなく示唆してくれました。

取り敢えず、ソコに入ってからの手続きとなるのとの事、区役所からの帰りに、早速 Tel.してみると、担当の人が、その日に迎えに来てくれるとの事、ただ、その日は既にホテル代が発生してたので、次の日に迎えに来てもらいました。

寮の簡単な説明や注意点を受けた後、契約。月々の支払い、自分の居た所では、家賃 57000 円、これは、その市区町村にもよりますが、生活保護の中の家賃援助の範囲上限が、多いようです。次に食費、3 食付いて 30000 円程、| 2
刑務所の食事よりはましですし、おかわりもできます。ただ、時間が決まっており、それに遅れると食べれない。朝は 6 時前、夜は 5 時頃、刑務所並です。また、食べても食べなくても食費は取られます。ただし、長期に居ない場合は、前持って施設の職員に申し出れば、大丈夫です。後は光熱費などで自分の手元に残るのは、毎月 2 万程になります。

正直スズメの涙です。貯金が無ければ苦しいです。ただ、気をつけなければならないのは、5 万円以上あれば、生活保護はうけるのは、難しいとの事。ですので銀行等には、預けれないです。後からバレます。聞かれたら 3 万ちょい、自分はそう答えました。刑務所を出た時いくら持っていたか、何に使ったのか、色々きかれましたが、スマホを契約したり、昔のしがらみで、返しておかなければヤバイのを返したですみました。ここまで来たら、刑務所出た所ですので、審査は確実にとおります。難しいのは、その地域によって、処分された不良の方や、脱退している不良の方でも、記録や書類に載っていれば、家を借りることも、生活保護を受けることもできないということです。

自分と変わらずに、Y 刑務所から出てきた方も、現在もそれで苦労なさってます。

また、自分は出てすぐにスマホを契約しましたが、パクられる前に未払い金が残っておりました。それらを払おうとしても、刑務所

の近くのドコモショップでは記録が凍結されていたため、支払いできず、どうしようかと思ったのですが、ダメ元で駅前のドコモショップに行ってみると、だいぶ時間がかかったものの、頑張って凍結を解除してくれ何とか契約することができました。社会復帰して感じたことが、スマホがなければ、とても困るということでした。

話がそれましたので、元に戻します。ですので、ここでお金を貯めてではなく、生活保護の許可があり、3、4ヶ月したら、仕事を探し、家を借りる援助をして貰って行く。体制を整えるための少しの間の凌ぐ場所だと考えたほうが良いと思います。

生活保護がおりれば病院代は補助してもらえるし、悪いところを全部直すのもいいかもしれません。目が悪いのもコンタクト代は出ませんが、メガネ代は出ます。病院や、更生などの活動に対する交通費も出ます。その分制約も多いですが、違えなければ大丈夫です。

自分は、今、昔の先輩の誘いで、建設関係の仕事についています。朝は、早くて夜は遅い。面白く、やり甲斐はあるけど、今時珍しいブラック業界です。

何でも屋、みたいな感じですので、解体に行ったり、道路作ったり、舗装しにいたり、何より楽なのが、社内はもちろん、社外的にも、刑務所に入ったたというのを隠さなくてもいいという事、自分から、言う事はないですが、聞かれたら正直に答えています。「そんなんやったけど、今、真面目にやっています、というところを言って見せて、すればいい。」始めに先輩(社長)がそう言ってくれたので、だいぶ気持ちが、らくでした。もともと、隠す

つもりはありませんでしたが、社内はともかく、社外では自分は良くても会社的にどうよ?と考える、どうしようか、と思っていたのです。

仕事自体は汚れるし、長時間ですし、汚く、キツイですが、自分より年が上の人たちが、頑張ってるのをみると、自分も頑張らなくてはと、取り組んでいます。

50代のこの歳になって気づかされたのは、まっとうに仕事して、生活するのは、大変だなあ、という事、頭のなかでわかってたが、実際には、とても大変です。

社会で真面目に生活していくと言うのは厳しいですが、今のところ、自分の後から出てきた人も大変な中、頑張っています。

中におられる方も、厳しい制約の中、色々大変なことが多いと思います。ただ、自分の身を1番に考えて、生活していただきたいと思います。

今回、簡単ではありますが、何かの参考の一端にして頂ければ幸いです。

皆様のご健康と日々の平穏を祈りつつ、今回は燃えさせていただきます。



28号で、出所したばかりの今井さんに、投稿をお願いしたところ、「頑張っしてほしい」「その後のことも知りたい」と手紙に書いてくださる方が何人もいました。そこで、今の住まいと仕事に落ち着くまでのことを書いていただきました。参考にしてください。



二つの刑務所で 食中毒発生！ たくさんお手紙を いただきました！

会員番号 A023 K.Hさん

実は今、とてもハッピーな気持ちです。というのも朝食にパンを食べられたからです。朝食にパンを食べられたのは2021年の1月以来3年振りです。その時は当所で大規模クラスターが発生し、炊場も作業停止した為、外部の仕出し弁当や市販のパンが出されました。そういう時でない、朝にパンは食べられません。現在当所では食中毒騒ぎの最中です。2/15(木)に腹痛と下痢の症状を訴える者がとてつもなく多くいて、トイレに長蛇の列が出来たとか。午後に急遽作業中止となり、風呂も入れてもらえないまま還房となった様です。(私は経理工場なので入れました)当然炊場も停止した為、その日の夜からは非常食となりました。昔と比べて非常食も少しはおいしくなったものの、歯ごたえのないお粥みたいな飯は、どうしても苦手です。本来16日の夜にパンが出されるはずだったのを今日の朝に出され、食べることが出来ました。非常食はお腹がすきます。その後、告知もなく、どんな状況かはわかりません。一体この生活がいつまで続くのか、月曜日から通常作業になるのかもわからぬままです。私も今日の朝方から腹を下しています。

追伸: 今日から通常通り出役でした。夕方告知放送があり、明日から仕出し弁当になるそうです。正直非常食はかなりきついです。粥みたいな飯では、すぐ腹が減ります。非常食でおいしかった

たのは、えいようかん(羊羹)、ライスクッキー、そのままごはん。よかったら食べてみてください。結局、食中毒かは告知がありません。しかし、明日から弁当が食べられると思うと嬉しくて嬉しくて、やっぱり私達には一番の楽しみです。 | 4



会員番号 A132 T.Iさん

さてさて、事件です。2/15に午後の洗濯物配布中というか、始まって暫くしてから突然今日の仕事は中止となり、洗濯物を各階毎わかるようにまとめて置いて、一度控え室に戻って待機。全工場午後から還房が始まり、全工が帰ってから私達も還房。状況としては2/14の夕食に出たポークソテーが大当たりしたらしくて、各工場腹痛、下痢の者が続出し、急遽このような処置になったらしい。私もこの15日は夜中から待機までの間に5回もトイレに行き、部屋に戻って就寝までの間に2回もP~P~でした。しかし、例のごとく経理は配食をやれということになり、15日の夕食、16日の朝、昼、夕と3食の配食をやり、17日からは配食しなくてもよいことになりました。それはなぜかというとなんか非常食を配布するので、おかずを分けることもなく、簡単なので職員がやってくれることになりました。しかし、16日、17日と下痢は続いています。15日の夕食は「そのままごはん」ケチャップライスとライスクッキー8枚入り。16日朝食は「そのままごはん」五目めし、ライスクッキー8枚入り。昼食は「そのままごはん」ケチャップライス、レトルト野菜シチュー。夕食はレトルト白めし、レトルトハッシュドビーフ、レトルト野菜シチュー、不味くて薄いコーヒー(豆乳にコーヒーの味を付け

たようなもの)、17日の朝食は「そのままご飯」カレーライス、パン1本、ミニ羊羹、ジョア、とこのような食事です。でもね、非常食もバカにできないよ！けっこう美味しい味もある。「そのままご飯」というのはミドリ安全産業というところのものなのだけど、けっこう良い味していて、5年間保持可能なので、けっこうお勧めなのだ。値段はわからないが、用意して置いても無駄にならないと思う。娘達にも勧めるつもりです。18年程前にも食中毒があったけど、その時の非常食は乾パンで閉口した！でも今の非常食はGood！だよ。

会員番号 A022 H.S.さん

先月中旬(15日)、食中毒の疑いがある事件が起きて、1日中工場のトイレが大繁盛で、6割の人が代わる代わる出たり入ったりしてました。私も2連チャンフィーバーしました。おかげで、炊事場が作業停止になって、5日間は非常食、その後菓子パン(朝食)や、刑務所専用弁当(昼・夕食)で凌ぎました。これもコロナ禍の中で慣れてしまいました。確かに腹は空きますが、私は嫌ではないです。ムシヨ生活は変化がなさすぎるから、不謹慎ですが、たまにはこういう小さな非日常は新鮮感があります。できることなら、原因が判明したら教えてもらいたいですね。いつも「知らせる必要はない！」的なスタンスはよくないと思いませんか？

食中毒？について A377 N.N.さん

他の方からも報告があったそうですが、原因については不明だそうです。何人かから便を検査しましたが何もでてこなかったと思われま。まったく平気な人や工場もあったらしく、私の周りでもピンピンしている人がいます。どんなお腹をしているんでしょうか。チタン製でしょうか。庄子さんが彼らの非常食への感想などを読んでおもしろがっていたので私も裏話をお話してみようと思います。

文句を言っている人もいるかと思いますが、炊場が停止したので非常食は別の所で大釜を借り、

温めてます。炊場の受刑者が働けないので休みの職員さんや別の工場の受刑者がお手伝いをして休みなく働いてつくりま。アレルギー人の用に別の物を用意したり、細かくして食べやすくしたものを区域ごとに数分けするのは大変でしょう。お茶も炊場が使えないので外の給湯を使います。お茶がぬるいという人もいたかもしれませんが、雨の日はテントを張ったり、雨水が入らぬようにしてました。少しでも温かいお茶を届けようと彼らも頑張ってますが、もともとの温度が上がらないので大目に見てほしいですね。普段は立って働く人は座業の人よりご飯(麦米)は多いですけど、非常食のときは配る受刑者も座業の人と一緒に。お腹の減りもみんな一緒に頑張ってるのです。

とまあ裏で働く人のお話はあまり伝わることがないのでお伝えしてみました。ちなみに私は菓子パンのパンがうれしかったです。外のパンてこんなにおいしいのかと。お弁当の中身もいつも食べているのと違って、メンチカツを食べて、ああメンチってこれだった！と二十年前の記憶が戻ったり、もう何十年も同じメニューを食べてるとすごく新鮮です。お腹は減るけど味はいいです。他施設より温めたり、お茶がでるだけよいのではと思ってます。

集団食中毒発生 A168 T.N.さん

2月15日朝から多数に下痢症状が出ていました。この事から前日夕食に中毒菌が入っていたと判断出来ます。(同房者は夜の内に下痢でトイレに入っている)工場出役直後からトイレに行く人がおり、トイレは朝から空気が有りませんでした。我が工場は8時30分からの1番運動だったものの、運動中もトイレに空きはなく、運動が終わって工場に戻ってからも、お茶休憩中から既にトイレは一杯で、私もトイレの順番取りはしていたのですが、結局漏れそうなのを40分も我慢させられることになりました。この様な感じで1日中トイレは大盛況で、空く間は一切有りませんでした。この様でしたので、この日の入浴は中止されて13時30

分頃には作業を止めて舎房に帰されました。工場
で下痢を申し出ていた人は約 20 人で、申し出てい
ない人も数人いました。C 刑の受刑区は 12 工場在
って、この他に経理工場も在るのですが、単純に
20×12 工場としても 240 人は食中毒になったと
いうことです。受刑区は約 600 人で、拘置区は約
300 人なので、1.5 倍の 360 人の食中毒が出ていた
と推計されるものの、2 月 27 日現在、中毒人数も
原因物も原因菌の発表も、一切の告知がありません。
下痢症状は 2 日以内に収まった軽度の人から、
1 週間以上も激しく続いた重症の人までいました。
下痢に人に下痢止めを処方するとしたなら、届い
たのは直ぐにも必要なのに夕方 5 時頃で、それも
下痢止めではなく、整腸薬のピオフェルミンでし
た。菌の退治には抗生物質だろうが！それも重症
で医務預りになった人には出なかったり、残房に
なった人でも 3 日分だけ。(1 週間も続いているの
に) しかも暖房の無い寒い房に残されても布団等
には入れず、寒さの為に下痢が悪化したと言う人
もいました。そしてこの間の食事は、当所はレト
ルト(非常食)の「そのままごはん」とか「ライス
クッキー」または「ケチャップライス」や「やわら
かごはん」とか「ビーフシチュー」とか「デミグラ
スシチュー」とかでしたが、このシチュー系の不
味いこと不味いこと。2 月 20 日からは山崎パンの
餡パン、うぐいすパン白餡パン、クリームパンな
どの何れか 2 個とジョアというのが朝食となり、
美味いけれども量が少ないので直ぐに腹が減りま
す。昼と夕はパック弁当ですが、これも量が少な
く安物なので内容も変化が殆どなく貧相なもの
です。ひどいのは例えば 2 月 18 日などは食事の時
間が 8 時 20 分頃で、昼は 11 時 20 分と 3 時間後
に出され、夕も 3 時 20 分と日の高い中に出すとい
う違法行為を平然と行い、これはコロナ休業中と同
様に非常に悪質。しかも空下りも 10 分後というデ
タラメさ！夕食をオヤツの時間程に食べさせられ、
翌日の朝食まで分量の少ない食事だけで約 16 時
間も置かれるので腹が減って腹が減って夜通しお
腹が皆グーグー鳴っています。とにかく食わせり

や何でも良いというやり方には怒りしかありませ
ん。



苦しい食中毒体験 令和 6 年 1 月 6 日

会員番号 A221 K.C.さん

Y 刑務所で発生した集団食中毒を書きたいと思
います。事件が起きたのは令和 5 年 12 月 21 日。
朝起きてすぐに腹痛が始まって下痢になった。こ
の 17 年間であまり下痢になることがなくて、この
異常に違和感を覚えました。そして、工場に行っ
ても下痢がとまらなくて、これは普通ではないと、
ようやく気づきました。午前 10 時に突然、作業や
めのブザーが鳴って、多くのものが下痢になっ
ている告知を受けた。そして、これから部屋に帰る
ことになった。

この日の昼食から非常食になったのですが、こ
れがあまりにも酷すぎたのです。昼食にでたのは、
非常用パン一個と 200ml のジュース一本だけです。
このパンは、食パン一枚ぐらいの量しかなくて、
これでは当然お腹いっぱいにはなりません。そし
て同日の夕食には、カロリーメイト(商品名)のよ
うなビスケット一箱と 200ml のジュースだけでし
た。これはもう人道的にありえないと思いました。
この日に下痢になってお腹になにも入っていない
のにこの量は少なすぎる、と憤りを感じました。

12 月 22 日、朝起きるともうお腹すきすぎてめ
まいまでしました。それなのに、朝食は非常用パ
ン一個と 200ml 一本だけでした。こうなってくる
と体に力がいらなくて動きが鈍くなっているの

PJや会報への感想 ありがとうございます！

サユリさんの呼びかけに応じて、
感想を寄せていただきました。励まされますね。

会員番号A188 RSさん。

私は今、報奨金で生活をしているのですが、PJ様と出会うまでは本を買うお金だけでもバカになりませんでした。でも、こうして無償本を読ませてもらったり、購入代行サービスで本を安く買ってもらえるということもあって、ここ数年で報奨金がだいぶ溜まりました。出所後はなにかとお金が必要になってくるので少しでも多く報奨金を持って出た方がいいに決まっています。そうやって出所後のことを前向きに考えられるのもPJ様のおかげです。本当にありがとうございます。

本に関する事で、もうひとつ書きたいのですが今回、送っていただいた「かえるのうた」の中にあった庄子さんの“アダルト誌との出会い”というのを読みました。これまでも汪さんや庄子さんから“アダルト誌の購入代行の依頼が多い”という話は聞いていたので正直なところ私はあまり深く考えずにアダルト誌の購入を依頼していましたが、今回の庄子さんの手記を読んで反省した点もありました。私はアダルト誌ばかり買っているわけではありませんがこれまでに何度か依頼したことがあります。最近のアダルト誌は高額で新品を定価で買うのは少し躊躇してしまいます。・・・でも欲しい。そんな感じで購入代行の依頼をしている次第です。シャバで生活しているとアダルト誌を買うことなんてないけど刑務所にいると同衆とアダルト誌のことが話題になることも少なくなく、それが当たり前になっていて感覚がちょっとズレていたのかも知れません。今後もアダルト誌の

が分かる。救いだっただのは、この日は教育的処遇日になっていたので仕事が休みなことです。そしてこの日の昼食には、サトウのごはん(商品名)のような非常用白米200グラムとカレーのレトルトだけでした。これも量が少なく、食べていないと同じ感覚でした。同日の夕食も非常用白米200グラムと何かのレトルトだけでした。

一気に3kgぐらい体重が落ちて、しかもあたたかい食べものを食べていないから部屋にいても寒くて寒くてしょうがなかったです。

12月25日は月曜日ということで工場に行きました。こういう状況、状態なのになんで働かせるのか理解できません。もちろん、うまく行進ができないし、あまり声も出なくなっていた。どうして先進国である日本がここまで理不尽なことができるのか分かりません。僕の母国では普通に食べものを買うことができます。しかも、欧米や中南米でも食べものを買うことができるのになぜ日本だけそれができないのか、分かりません。12月25日の夕食からようやく外からのお弁当になりました。量は少ないし、冷えているから食べていくと体がブルブルとふるえてくるのですが、まだマシだと思いました。人生の中でこれほど命の危機を感じたことはありません。

よく、「これでいい」と思うY刑務所。

僕は無期懲役なので、今後、大震災が起きた時は恐怖でしょうがないです。外ではパニックになっているからお弁当が入ってこない。非常食で過ごすしかないのです。とてもじゃないけど、この非常食の量は異常に少ないと思います。そこで、今後、改善されるように、そして精神的、身体的に受けた苦痛を裁判で訴えたいので、金銭的に協力をお願いしたいです。この非道なやり方を許してはいけないと思っているので、よろしくお願いします。



購入を依頼することはあると思いますが、その時は今回の庄子さんの手記を思い出すようにしますね。これから庄子さんの手記の中の「私のPCは大分賢くなって「し」と入れると「素人」と出たりします・・・」というのは少し笑っちゃいました。

話は変わりますが今回の「かえるのうた」には生活保護について、かなり詳しく説明がありました但是这はとても参考になりました。生活保護を受けずに済むのならもちろんそれが一番ですが長期刑ともなると”出所する時に自分の体力や身体機能がどうか”という不安もあります。

「生活保護」というものの存在は知っていても実際どうしたら、それを受けられるのか、とかいくらくらい支給されるのかという細かな内容については知らない人が大半だと思います。出所する時、仕事が決まっていればいいけれどいざという時のために生活保護という手段もあるということを知っておいて損はありません。私の出所はまだ先の話ですが「かえるのうた」を見ていて“ああ、私は支えられているのだなあ”と感じました。

会員番号 A375 K.K.さん

今年に入りPJに入会させて頂いてから、本の差し入れや手紙にプリズンライターズ、リクエスト本など御丁寧な対応と度重なる温情に、この場を借りて、深く感謝申し上げます。差し入れて頂いた食べ物のチラシ（ハンバーガーなどの）は目に毒でしたが（笑）。今は世の中のこんな美味しそうなものがあるのかと、色々参考になりましたし、結果的に良い目の保養となりました。（笑）また、密かに楽しみにしていたりします。私自身、社会に居た時、食へのこだわりというものが、ほぼ無にひとしく主食がお菓子（おかず）で米のかわりにシリアル（グラノーラ）を食べるというメチャクチャな食生活を送っておりました。まともに食事をする時と言えば外食の

機会ぐらいのものであった私ですが、刑務所に入り、その都度、自身の食べたいものが、食べれない環境に身を置くようになったからか、食への渴望がやたらと出てきて、探求心といいますか、そういった感情が止まりません（笑）しまいには食べ物本まで買ってしまおうとついで、最近、買ったのはドーナツに関する本で、色々な種類のドーナツが載った本です。

私、社会に居る時からBEST「3」に入る位ドーナツが好物でして、週1は必ずミスタードーナツに行ってた程です。（笑）元々が太りにくい体質ですが、いわゆる大食いにして、ミスドのドーナツを全種類1個ずつ買い自宅で食べる（1日で）なんてこともざらでした。周囲からは良くそんな食べて太らないねとか、そんな量食べて羨ましいなんて言葉もありましたが、今だに自身の食欲に恐ろしさを感じる時があります。（苦笑）正直、今現在食べたい物が食べれないというのが個人的に一番辛いかもしれません。他の物に対しての欲求は徐々に薄れていってる気がします。全然苦にはならないので、また社会にはこんな美味しい物があるよ！出たよ！といった情報があれば教えて下さい。ミスドの新作情報などであれば尚嬉しいです。

手前勝手な話を長々と申し訳ありません。プリズンライターに関して同じ受刑者が投稿していることもあって、為になる内容が非常に多く、また私自身の文才がほぼ皆無にひとしいため、文字の書き方の参考になるなどかなり重宝し、今や手放せない存在になっています！読む度に元気を貰え、時には真実を知り少し落胆してしまうこともあります。日々辛い懲役生活を支えてくれる心の拠り所となってくれていることは間違いありませんし、毎月の楽しみとしております。

PJに入会してまだ半年も経過していませんが、入会して良かったと心から思えます。私自身至らない所ばかり、欠陥だらけですので、私の手紙を読んで頂き、「そこは違うんじゃないか？」など疑問に思ったりしたことがあればそ

ういったこともストレートに言って貰えると、私自身の為にもなりますし、すごく嬉しいです。何度も言いますがPJの皆様には日々本当に感謝しており存在そのものが私自身の生活する上で糧となっています！

会員番号 A307 M.S.さん

まずは「かえるのうた 28号」を読んで。出所された方のコメントが掲載されていましたが、二方とも社会へ復帰された際のリアルな心情や様子が綴られており、私自身も社会から20年以上離れていることもあって、多くの部分でなるほどと、大変参考になるなと思ながら読ませていただきました。中での生活が身に染みついてしまっているので、社会へ戻ったらきっと戸惑うことばかりなのだろう。慣れるのに時間が掛かるのだろう、と漠然とした不安はあるものの、まだまだ先のことなので見当もつかないというのが正直なところでしたので、実際に長期刑を務め、出所された方の生の声が聞けたのはとても貴重なことです。やはりスマホをすぐに入手し、ある程度使いこなせなければ困るということが共通の認識として挙げられており、サユリさんのスマホ講座の大切さを再確認しましたし、今後は買い物や食事、各種交通機関以外でもスマホを使用する場面がますます増えてゆくのではないかとも思いました。そして今井さんの書かれた反省とは？を読み、自分自身も同じような考えを持っていたので、出所後もこういった気持ちのまま生きている方がいることを知り、ちょっと安心しました。反省や更生は何が正解なのか、考え続けても答えは出ず、過去を振り返ったり、他者の立場になったつもりで物事を考えたり、あの時もしこうしていたら……とイメージしたり、事件を起こした自分を分析したりしてみますが、結局は思考がまとまらず、すっきりしないまま終わることがほとんどです。なので反省し終わった、もう更生できたよという方がいましたら是非どうということなのか教え

て欲しいと私も本気で思います。それぞれの内面にあるものや感覚的には異なるかもしれませんが、どのような思いや出来事、または人との出会いなどによって辿り着いたのか知ることができれば、きっと大きなヒントになると思うのです。あくまでも私の考えですが、犯罪を起こす人間の大部分は、育った環境や親、また周囲の影響を受けて成長する際に何かしらの形で歪んだ方向へ進み、善悪の判断や価値観が大きくズレていることが多いと思うのです。暴力や虐待が日常にあったり、愛情や安心感を与えられずに育つなかで形成された人格は簡単には変えられないし、だからこそ社会からはみ出してしまったわけで、刑務所に入ったからといってすぐに直るものではありません。しかし一方では辛い生い立ちや境遇にあっても社会に適応し、立派に生きている人々が沢山いるのも事実で、だからこそ私達は反省・更生について考え続けなければならないと思います。また、いざ出所すると衣食住を確保しなければならない問題にぶつかり、その重要性和大変さがひしひしと伝わってきました。忙しいなか、大切な時間を割いて文章を綴ってくださったお二方に感謝するとともに、また社会での様子を伝えてもらえたらと思います。

それと生活保護のやり方についてとても詳しく紹介してくれましたが、ここまで細かく説明されているものは見たことがありませんでしたので、大変参考になりました。受刑者にとっては身近な制度ですが実際は窓口で門前払いされることも多く困った、という話しもよく聞くので、事前に知識をしっかりと頭に入れておくことが大切だと知りました。



28号感想 No.1970さん

東拘の1970番です。諸事情で「かえるのうた」の28号をやっと手にすることができました。初のB5サイズ、しかも表紙もカラーで、バースデーカードもきれいに映っている。いいですね。

巻頭の大塩代表のメッセージ、前は故田中代表の短歌のスペースだったね。あの短歌は俺も好きで、原稿を受けると、そういうときをチャンスとばかりに田中さんに電話して、社会人の礼儀として入稿のお礼を言うと、田中さんも春江の事務所に行けないことを詫びてくるのが常でしたが、すぐに2人で大笑いして、似合いねえと笑い合うのだった。

田中さんが亡くなり、代表がいなくて困るので、庄子さんにまず打診したのですが、両手をせわしく振って、絶対に無理ですと言われました。さて、代表をどうするか、庄子さんはいろいろ把握していて適任とは誰もが思うのですが、日常業務ですでにキャパオーバーしているのも事実で、代表職まで押しつけるのは確かに酷でした。次に考えたのは中島さんという70代かな?のおっさんでした。定年退職してヒマしているし、前科前歴もないし、局長との付き合いも長し、毎月必ず事務局に来てくれるし、これも適任と考えて、オファーを出したら、これもまた両手を振って断られたのです。ここでコナンではなくワンナンは考えた。断わってきた人の申し訳なさという気持ちを利用しよう。それで庄子さんと中島さん(通称長老)を巻き込んで、大塩さんに代表職を引き受けてくださるように、説得役ないし、逃がさない役になってもらい、他のスタッフの圧力もあつてか、大塩さんが代表に就いてくれた次第です。そのいきさつも思い浮かべながら、大塩さんのメッセージを読み、ワクワクで次の「おかえりなさい」に目を通した。

今井さんは在監中に入会された方で、出所して本当にPJを訪ねてきた偉い人です。見ての通り、出所直後の想いを素直に文章にしてくれた。実際に接してみると、ムショボケはあるものの、地に着かないような危うさは無かった。できることならPJの常勤スタッフになってほしい人材です。小池さんの「まずはケータイ」もいいですね。ケータイは皆が気になる、そして欲しいアイテムですもんね。

おれのときは2014年ですけど、姉の名義でiphone5というのを分割で買ったのはいいが、せめて通話料は自分で払わないと思いき、支払いの口座だけ自分の口座にしたら、これが意外に高く、手取り13万円の給料から1万5千円も毎月引かれるのはかなりキツかった。何も知らないから、いろいろとオプションを付けられて、のちに解約すれば実質お金はかかりませんと言われていたのに、その解約がなかなかできなくて、数百円ずつだけど、きっちりお金をとられる商法でした。



会員番号 A023 K.H.さん

今年に入り立て続けにプリズンライターの原稿を送らせて頂きました。こうやって原稿を褒めて頂くと本当に嬉しいです。何度も言うように私はこのプリズンライターズに救われました。私の考え、思いを社会の人に読んでもらえる事により私の存在を認めてもらい、私が生きてる事も知ってもらえます。又、私の文章で心を動かされる人、元気になれる人、その人の人生の少しでもプラスになれば良いと思いき私の後悔シリーズをせきららに書きました。これで後悔する人を1人でも減らしたい。行動を躊躇してる人の背中を押せたらと思いきを込めて。これが、私達が出来た社会貢献であり贖罪の一つであると考えます。

先日送りましたA22さんの「闇バイトはやばい」を読んだ感想にも書きましたが私達が体験した事、後悔しているからこそ言える事は、現実的で非常にメッセージ性が強く、若者の心に響くと思えます。この文章こそメディアの目に止まり取り上げられるべきもので闇バイトの抑止になるはず。良くも悪くももっと私達に関心を持ってほしい。でもそれは無理があるのかもしれないね。

昨日の新聞に載っていましたが、4月から受刑

者を「さん」付けて呼びそれを徹底する様ですが、そんな事よりもっとするべき事があると思うのです。まずやるべき事は、刑務官のストレスケアだと思います。刑務官は本当に重労働です。朝早く、夜は遅く泊まりもあり、休みも少ない。この労働環境からくるストレスにプラス時代遅れの体育会系の縦社会、今の幹部となり多少は緩和されましたが普通の会社でパワハラにあたるような事が平然と行われている事もありました。そんなストレス下の中、受刑者を相手するのは相当なものでイライラするのも仕方ないと思います。新聞には人権の観点からもさん付けするような事を書いてありましたが、受刑者はこの人権という言葉が好きなので何かと言えばすぐ人権侵害と騒ぎ立てる輩がいますが、そもそも人の人権を侵害しておいて良く言うよ、と思います。私は名古屋の件を機に罰を与える刑務所から教育し更生させる刑務所へのシフトチェンジするべきだと考えます。再犯率が高い昨今、厳罰化の効果は低く、健全な、社会生活をする事、自己の改善、再犯防止の教育を徹底する方針を一度試してみるのも1つの手です。現役世代が多い刑務所で更生教育する事でもう一度やり直そうと強く思い、しっかり社会復帰できれば、働き手も増え、税収、社会保障費も増えて一石二鳥ではないでしょうか。それがとりあえず刑務所に入れとけの今のやり方では国家予算は嵩み、苦しむのは国民。こんなことばかり考えてます。



会員番号 A385 M.O.さん

先日「かえるのうた」第28号を拝見したら、あれ、これって、どこかで見たことがある気が…(?) 会員番号 A385 M.O.さん、俺と同じだ。ん、今回3年6月の判決、ん、ん~7月21日に刑が確定、今、K刑務所で生活、えー、これも俺と一緒に、え、え~、これ俺だ~(笑)と、驚天。

まさか、自分のLETTERSが掲載されると思ってなかったのに、現実を理解するまで多少、時間を要しましたが、数分後、何故かひとりで「にこ」(笑)笑ってしまいました。(笑)

自分で自分が書いた文を読んで恥ずかしさが在りましたが、やっぱり喜びが勝りました。

自分が当時、こんな気持ちで居たんだと、改めて考え、初心に戻ることが出来たと思います。それに、自分の当時がこんな考えで居たということが「かえるのうた」に残せたことは、自分にとって、多少は、更生に繋がると思います。何でも慣れると周りの景色の見方、見え方、彩り、考え方に多少変化が在り、生活も雑になって来ると思います。刑務所生活で一番事故が起きやすいのが、生活や作業に慣れて来た頃合だと思うので月一位で「かえるのうた」を見て常に初心に戻れたらと思います。でも読み返すと、やっぱり、ちょっと恥かしいです。(汗)それと先月、工場での今月目標が、「今年一年を省りみよう」でした。だから、私も常に自分の気持ち、考えを省りみれる様、日々、精進しようと思いました。有難うご座居ます。



会員番号 A008 T.Y.さん、

いろいろと大変かと存じますが便りを愉しみにしております。

プリズライターの内容に一部明らかな間違いがございますのでご指摘を致します。

A168 「信じるか信じないかは貴方次第」
ビタミンCに抗癌作用はない。女性はリスクが上がる。血中正常値は0.55~1.5mg/dl

1日に400mg以上摂取しても飽和して意味がない。副作用はないが過剰症はある。

消化器症状(下痢等)、歯牙腐蝕、頭痛、疲労、睡眠障害、血尿、尿路結石、高尿酸血症
血中MAXは3時間後で、摂取1時間で尿から出

る。

菌とウイルスの違いが分かっていないところは…抗生剤と抗ウイルス剤は秩序がまったく違う。コロナの肺炎が腸内の菌？腸内にウイルスが侵入することはいえない。人には胃酸があるので、ほぼ全て死滅するし、肺炎になるほど菌が身体に入れば、それ以前に人は死ぬ。

なんでもかんでも掲載すれば、その他の意見でもためといわれても何もいえないのではないかと…。

A304 さんの刑務所のお金の財源は税金というのも少々違う。刑務作業で受刑者が得ているお金も、還流して我々の予算として使ってくれている。

予算不足を幹部のせいにするのも…
特食も何もかもテレビの電気代も全て自弁でとするのが一番コストが下がる。
完全な責任転嫁ではないですか？



読んだ本 VOL1

会員番号 A372 D.U.さん

「もろびとこぞりて」 作：ウチャマユージ
日本文芸社 720円+税 22年3月初版

アラフィフのおっさんが読んでみて人に薦めなくなった本を紹介します。私はSF、ラノベを愛読しているため、少々内容が偏る事もありますが、お付き合いいただけると幸いです。記念すべき第一回は、マンガ『もろびとこぞりて』ウチャマユージとなります。

以下本裏に記載の紹介を原文のまま転記します。
(都内から千葉県に引っ越してきた大島一家。家族は新天地で穏やかな生活を送っていた。

一家の秘密が知られるまでは……。ある凶悪犯罪と、加害者家族の末路。終わらない悪意の渦が一家を襲う時、人間の薄暗い本性が暴かれる。奇才・ウチャマユージが現代社会の病巣を鋭く抉った、衝撃のヒューマン・サスペンス堂々登場)

どうしても日本人の気質として、何かしら犯罪が起きた時に、犯人個人ではおさまらず、所属している組織や家族にまで、問題があると考える事が多いと感じます。

その解決策として、組織や家族に対する村八分が、昔からまかり通っていた事も皆様御理解いただけると思います。

実際は村八分という無視で済めば良い方で、親が犯罪者の子供は学校でイジメに遭うのがほとんどのようで、事実私の子供もイジメられているようです。

私も受刑者となる前、社会に居た頃は、同じように犯罪者の家族がイジメられているのを見ても、何も気にしなかったのだと思います。

「犯罪者の家族なんだから、何をされても文句を言うな」と、いう世間から無言の圧力を受けている私の元家族と登場人物が重なって見えて初見は吐き気が治まりませんでした。

前科者と私自身が差別をされようが、それは罪を犯した者として甘んじて受け入れなければなりません、たまたまその家族だったという理由で、不便な生活を強いられるのは、社会として間違っ



ていると思います。本作の大島一家の手法も、ある意味正解だとは感じますが、まずは御一読していただき、色々と考えてもらえると嬉しいです。



ブックレビュー(恋愛系)

会員番号A321 M.C.さん

「美丘」 石田衣良 角川文庫

大学生・太一と奔放な行動力を持つ美丘の、命を燃やす恋愛。なかなか泣かない私が号泣しました。

「パイロットフィッシュ」

大崎善生 角川文庫

デリケートな文章で人間模様を綴った恋愛小説。登場人物の心理描写が上手い！

「アジアタムブルー」

大崎善生 角川文庫

愛する人のために出来ることは？読み手が感情移入しやすい！

「シャワー」 喜多嶋隆 角川文庫

生と性の本質に迫った、大人のための恋愛小説です。

「愛なんていらねえよ、夏」

龍居由佳里 KADOKAWA (品切れ)

金だけを信じて生きてきたNo.1 ホストと、盲目の少女のピュアなラブストーリーッ！

「ストロベリームーン」 芥川なお すばる舎

懐かしくて切なくて、そして甘酸っぱい……。描写がとても綺麗で、心の機微に涙が止まらなかった！主人公の二人のピュアさにも自然と心がさわやかになる。

「あなたとわたしの物語」

小手鞠るい 徳間書店

恋は毒のようなもの！一瞬の官能的きらめきを感じさせる、大人の為の恋愛小説集。

「アナログ」 ビートたけし 集英社文庫

まだネットも携帯もない時代の物語だけど、アナログな世界だからこそその恋愛模様が新鮮。シンプルな純愛は美しい。

ブックレビュー(ノンフィクション)

会員番号A321 M.C.さん

「万年東一」(上・下) 宮崎学 角川文庫

昭和の日本裏社会伝説のアウトロー・万年東一の、血湧き肉躍るアウトロー・ロマンの傑作。“愚連隊の神様”と呼ばれた万年の、破天荒で痛快な半生は読み手の心を離さない。

「ジョン・レノンの真実」

ジョン・ウィーナー KADOKAWA

あのジョン・レノンが反政府活動に加わっているとして、FBIが監視していた？ジョンの真の姿とは！？

「食べるな危険！！」

モーガン・スパーロック 角川文庫

ファーストフードだけを食べ続けると、人間はどうなるか。著者自らが被験者になって、体の変調をレポート。恐しくて食欲がなくなります。

「人道支援」 野々山忠致 集英社新書

善意の押しつけではない、自分で考えるボランティア活動をするにはどうしたらいいかと考えていた頃、知人から紹介された本。人道支援の理念と原則を学んだ。

「食マフィアの棲む国」 吾妻博勝 徳間書店

我が国・日本の農業消費量は、世界一の農業大国アメリカを圧倒している！生産から消費の現場を徹底的に暴き出した渾身のレポート！

「東京アンダーワールド」

ロバート・ホワイティング 角川文庫

東京マフィアのドンとして暗躍し続けた男の生涯が、日本の裏社会をあぶり出す！

「あの人と和解する」 井上孝代 集英社新書

互いに不満を残さずに和解する為には、考え方や気持ちの方向を少しだけ変えることが大切。

「西成で生きる」 花田庚彦 彩図社

本書は主に、西成で生きていた、西成で生きている、西成で生きていく人達の構成で成り立っていて、読みやすい。

この街はどんな過去があっても受け入れてくれる街で、正に「清濁併せ呑む」ということわざがピッタリ！「NPO法人炊き出し 志絆会」代表・樋口順三ご夫妻の活動には頭がさがります。



推し本紹介

会員番号A321 M.C.さん

「フランキー・マシーンの冬」(上・下)

D・ウィンズロウ 角川文庫

小説巧者ウィンズロウの作品は、全作品読み応えがあって胸を張ってオススメ出来ます。是非一度、手にとってみて下さい！

「シャイニング」 S・キング 文春文庫

雪に閉ざされたホテルと云う閉鎖空間と親子三人の視点を巧みに生かした、重厚なモダンホラーの金字塔的作品。S・キューブリック監督で、J・ニコルソンが主演し映画化もされました。

「ドクター・スリーブ」

S・キング 文春文庫

「シャイニング」の続編で、キングらしい遊び心が作中のあちこちに埋められている。

「罪深き誘惑のマンボ」

ジョー・R・ランズデール 角川文庫

アメリカ南部の空気感と人種差別の実態を、とても分かり易くリアルに描いたサスペンス。読ませるのが上手い！

「暗殺者グレイマン」

M・グリーンニー 早川文庫NV

以下「グレイマン」シリーズ

「暗殺者の正義」「暗殺者の鎮魂」

「暗殺者の復讐」「暗殺者の反撃」(上・下)

「暗殺者の飛躍」(上・下)

「暗殺者の潜入」(上・下)

「暗殺者の追跡」(上・下)

主人公がハイテク装備や、最終兵器を使わず敵を倒すのがこのシリーズの醍醐味。

超人ではないし怪我也するけど、勝負を諦めないから、頁を捲る手が止まらなくなる冒険アクション！

「狙撃手ミラの告白」

ケイト・クイン ハーパーブックス

この著書の作品は主に戦時下での女性達の苦難と生き残りを、劇的展開で感情豊かに読ませて

くれるから私は好きで、本作も実話を基にしたものなのに、ドラマ的要素で波瀾の展開を味わえた！

「パチンコ」(上・下)

ミン・ジン・リー 文春文庫

読んでいると、私が小さい頃に観て感動したNHK連続テレビ小説の「おしん」を思い出した。人情と家族のドラマというのは人種問わずに感情移入して読めるので、数年後に再読しようと思う。

推し本紹介

会員番号A321 M.C.さん

「奇跡の人」 真保裕一 角川文庫

事故で記憶喪失、知識も小学生レベルの主人公は、直向きに前へ進む。人間愛にあふれた生命の鼓動に感激！

「半暮刻」 月村了衛 双葉社

利益至上主義、自己責任論、他人への無関心など、現代社会の病理を浮き彫りにした社会派小説。

「悪逆」 黒川博行 朝日新聞出版

この著者の作品って、どれも読みやすいし、ストーリーがマンネリ化しないのがいい。

「日没」 桐野夏生 岩波書店

極限の恐怖描写は精巧で、完成度が高い。桐野夏生の数多の作品の中で上位と言ってもいい。

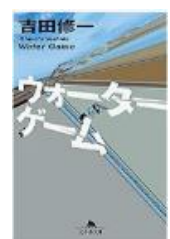
「逆転泥棒」 藤崎翔 岩波書店

本作の大どんでん返しは、技巧的で論理的。読む価値アリッ！

「太陽は動かない」「森は知っている」

「ウォーターゲーム」 吉田修一 幻冬舎文庫

金欲、性欲、名誉欲……。人間の欲を追い求める男と女。産業スパイシリーズの三部作！作品の始まりから終わりまで、端正に仕上がった一冊。



「死命」 薬丸岳 文春文庫



薬丸岳は、いそうにない異常な人間を本当に近くにいるように描き出すのが上手っ！沢山のミステリーを読んだけど、これほど迫力と臨場感ある物語はあまりないと思う。必読の一冊！

「ドアD」 山田悠介 幻冬舎文庫

この作家の作品はどれも少し狂気的で、人が死ぬ瞬間にどんな仕草や言動をするかと云った描写が多く、でも私は好きで、本作のラストにもゾッ！としました。



ブックレビュー 1970さん
「囚われし者たちの国」
—世界の刑務所に正義を訪ねて

バズ・ドライシナー著
梶山あゆみ訳 紀伊國屋書店

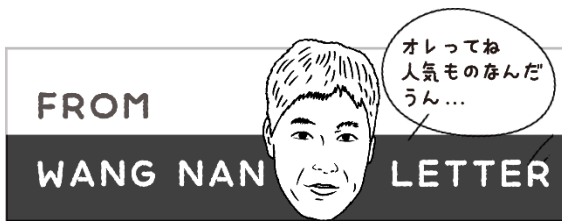
この本はね、シャバにいたときに書評を依頼されて、送って頂いた本ですが、単行本で450ページ超で厚みは3cmもあって、読まずに、そして返してもいない本である。今回は留置場にいるときに差入れて入ってきたので読みました。一言で言えば、学者が書いた知識もたっぷりの専門書ですね。日本の刑務所及び矯正のあり方に問題を感じている人でなければ読めない一冊である。章を追って言えば、ルワンダ、南アフリカ、ウガンダ、ジャマイカ、タイ、ブラジル、オーストラリア、シンガポール、ノルウェーと、これだけの国の刑務所に取材で回るのではなく、更生させる側として、仕事として訪ねていくのである。ここに日本が入っていないのにお気付きですか？アフリカのような生活水準があきらかに低い国々、その刑務所に、著者は学者で実績はあるとは言え、メールひとつで刑務所の所長に自分はどのような者でどうしたいのかを説明し、

所内見学だけでもとお願いしていくのですが、日本ではまず取材はいち所長では許可できない、もしくは事なかれ主義で許可したくない雰囲気にあると思う。そして本書を読むのにつれて感じるのは、外国では所長でも矯正局の役人でも再犯そして更生を社会の問題として捉え、主体として関わっている姿勢がかいま見えることだ。何を言いたいかというと、日本の刑務所の職員と接していて、どうしたら更生させることができるかを考えている、考えているように見える人に会ったことはない。更生とはお偉いさんが考えることで、俺は看守にすぎず、職務は受刑者に規律を守らせること、出所日までそれが続くこと、俺を困らせないこと、だけである。再犯？それはヤツらが懲りないだけですわの一言で思考停止している。

この本を読み、この著者に近い存在はこの日本にいないのかと考えたら、坂上香さんが思い浮かんだ。映画作家であり、一橋大の准教授でもある。かえるでも上映会をやったのは

「Lifers ライファーズ終身刑を超えて」という映画。「プリズン・サークル」岩波書店につづき、最近「根っからの悪人っているの？」創元社(¥1760)という本も出している。188ページでエッセイのようで読みやすい一冊である。坂上香さんのような方がアメリカに居て、たくさん国の刑務所を見て関わってきて、感じたことを書きました的な一冊がこの「囚われし者たちの国」である。だからでもないが、気楽に日本の被害と加害の問題を知りたいければ坂上香さんの本を、もっともっと知りたければこの本を読んでくださいですね。





わんレター Part1

おっす、おっす。局長に代わって、東拘の1970番がこのコーナーを担当します。東拘、知っているし、何ならよく面会にも行っていたけど、まさかのご入居ですよ。でも俺の知っている東拘は古い建物の時代で、今の、ヘリポートみたいのが付いている超近代化の東拘ではない。でも住所は変わってなかった。昔の東拘は小菅と呼んだほうがしっくり来るような戦前は大げさでも、昭和の感じがするところでした。俺が20才のときは、初犯房は新5舎という今の刑務所と同じ造りの雑居房でした。担当台は廊下の中央にあり、片側にだけ舎房があり、1房が入り口で担当台手前の7房か8房は要注意人物を入れていた部屋で、8房か9房から奥までで14もしくは16部屋だったはず。初犯で、それこそ何も分からないから、担当も少年鑑別所や少年院の先生と違って、恐い存在で、気安くオヤジとも呼べなかった。思い出はないけど、事件はあった。その担当台の真横の雑居にいたイラン人ら7～8人は1人を残して、まんまと脱走したのだ。当時は雑居にバツカンと呼ばれるプラスチックのバケツがあって、配食のときに職員は「食器イチ、バツカン二」と呼ぶと、未決の俺らは入り口で食器ひとつとバケツ二つを持って待ち、そこに全員分のおかずなどを配られるわけだ。そのバケツからさらに分けるのにアルミのおたまが備え付けてあった。

イラン人らはそのおたまを使ってトレイの鉄格子をはずし、逃げたのだ。映画みたいで本当にあった話。雑居だから運動場でもよくそのイラン人グループと話していたけど、事件を知って日本人はビックリして、誰も信じられなかったよ。イラン人脱走事件の他に、ワキガの人と同じ部屋になって、若いというだけで鉄砲玉にされて、確か5万円か、もっと安く3万円かの差入れを同室から受けて、成敗してくれという依頼で、そいつにトビました。時はバブルもはじけて、小菅には今までにはいなかったタイプの、いわゆるバブル紳士たちも入れられた時代と思われる。同室にも一人の60代の品の良い方がいて、詐欺罪で起訴されていて、本当は詐欺師に騙されてここに入れられたという。20才の俺には理解できるはずもなく、ただ見せてくれる書類の数字はどれもゼロがいっぱいで、億単位の金額が羅列されていた。そうそう、あのころはカニ缶詰が高価で、差入れでしか入手できなかった。ごはんも今じゃ考えられないが、一つ一つがアルマイトの飯盒で炊かれていて、アツアツでした。自腹の領置金でらっきよを買えたので、そのらっきよに入っているお酢を使って、飯盒のメシから麦をとり、白米のところだけバツカンに集めて酢メシを作るのです。プラスチックの下敷をウチワ代わりにあおるのです。でき上がった酢飯の上にホタテやカニの缶詰をのせて、ちらし寿司。まあ手間はかかる一品です。あとはうなぎ缶詰があるから、これをアツアツの飯盒に入ってるごはんの上のせて、うなぎ。このふたつはいわばごちそうで、出廷の日で帰りが遅く、皆と夕食をたべれないときに、同室が作ってく

れるとめっちゃうれしいやつですね。そんなわけで、局長が不在の間は 1970 がこんな感じでここを占領します。

Part II

記憶があいまいなところがあるのですが、1～4 舎があって、5 舎と新 5 舎がまた別々にあったのかは覚えていない。新 6 舎というのもあった。新 6 舎は独居で、のちにオウム真理教事件が起きて、多数の信者をここに収容したと聞く。その教祖様とも同じ南舎に入れられた時期があって、グルは一階で、俺は向かいの 2 階でちょうど見下ろせる位置にいた。知っているように拘置所も役所で土日休日は休庁日と言って、何もしない日と決まっているのですが、あのころの土日に舎房のぞき窓を廊下から閉められて、外からも監視されない時間帯があって、初犯だったからルールも分からなくて深く考えなかったのですが、ある日、そののぞき窓を閉められたのはいいが、風で少しだけスキマが空いてしまったのです。そこから 1 階を見下ろすと、あの風体の教祖様が大勢の看守に囲まれて、舎房から連行されていた。そして俺の部屋の前は運動場で、休日なのに、ジャリジャリと歩く音が聞えてきて、そう、あの人はとくべつに休日に他の人と会わないように配慮されて運動していたのです。

教祖様は面会や出廷のときは車椅子でした。それを遠くの高速道路に何日も立って隠れていたカメラマンにまんまと盗撮されて、大騒ぎになった。そのとばかりで東拘はあらゆる方向からの盗撮対策でアクリル板をつけるようになり、外の風景がまったく見えなくなったのです。同じ時期に「幸せですか！」とい

うフレーズ？で有名なもう一人の教祖様もいました。こちらは紳士然として、オーラがありました。警視庁本部から一緒に、出し入れされるときによく会うのですが、そのたびにからかって、「幸せですか？」と声をかけていた。始めはいやがられたけど、そのうち苦笑されるようになり、言われる前に頭を下げるようになりました。あの頃の小菅はとにかくボロかった。最後のとき、つまり今の建物の工事が開始したとき、再犯房は北舎にありました。俺は北舎 2 階にいて、1 階は体重 120 キロはあろうあの名物担当でした。北舎は通称ドイツ監房で、外国の映画に出てくるような、1 階から 3 階まではふき抜けで、中庭のように、廊下から上も下も見える造りでした。その吹き抜けの幅は大きくなくて、夜間は室内にあった長机をその吹抜の手すりの両側にかけておくのでした。向かい側の房と同じように机と使わない毛布も夜間は外に出すので、食べきれないお菓子を毛布の中に隠し、長机と一緒に廊下に出すと、打合わせた通りに向かい側の房は翌朝、わざと机と毛布を間違えて収納するので、お菓子を大量に分けることもできました。ワンフロアに 16 監房あったはずで、担当台の近くに新入房といわゆるゼロセンベヤ（お金がまったくない人を集めた部屋）があった。差入れが多くて、お菓子がたまってくると担当から声をかけられて、食えない奴らがかわいそうだからさ、力を借してくれるか？といわれ、協力しますよと言えば、数日後にいきなり何人もの職員がきて、「転居」と言い渡されて、ものものしい雰囲気の中で、荷物と布団と菓子を全部持って、ゼロセンベヤに引越すのです。そのときは同房も協力し

て人気のない菓子を出してくれて、ゼロセンと一緒に運んでくれるのです。ゼロセンに入ると、もう飢えてるおっさんらが待っているわけで、あいさつもせずにお菓子をうばいにくる人もいて、ビックリ。そこにもちゃんと房長がいて、あいさつのあとお菓子を全部その房長に献上。そして早ければ翌日にはもう転房して元の部屋に戻っているのです。あの時代だからできた粋のひとつですね。今はお菓子のやりとりは懲罰ですからね。あの頃の再犯房は完全にヤクザの天下で、房長がいて、現役らがいて、若いカタギらがサラ仕事という名の雑用をやらされていた時代でした。1970も現役でしたけど、それよりもお金があって、仲間や知り合いからの差し入れがバンバン入っていたから、一目を置かれる存在でした。まさに地獄の沙汰もゼニ次第というやつです。ザブトンでいう貫目が上でもゼニがなくて、現役を名乗れない方もいたし、ただの売人なのにお金があるから、威張っていて看板を名乗っている輩もいた。そういうところは業界でも薬局*として有名ですので、暗黙の了解で皆が分かっていました。1970もヤンキー激戦区の江戸川区の出ですから、拘置所にも知り合いがいっぱいいた。45Lのゴミ袋いっぱいのお菓子（通称1万円福袋）は差入れ屋の池田屋と相模屋から入ってくるので、それをもらえる人はアニー（兄貴分）と呼ばれていた。1970は一日に2つももらえてフロアではトップでした。その後に、のちのちに飛鳥にブーツを売って有名になったモリさんが同じフロアに入ってきて、ツートップになりました。再犯房の世話をする囚人がいて、ワンフロアに付き3人で、今も変わらない。そ

して小菅では古い順から、大型、中型、小型と呼ぶのが習わしで、この他にガリ屋と呼ばれる理髪係も数人いました。こっちは未決で菓子もたべられるのですが、囚人らは赤落ちして、もう受刑者身分ですから菓子をたべられないのです。そこで餌付けと言って、ゴミ回収時や廊下掃除の時にその囚人が一人で看守がそばにいないと、菓子をたべさせるのです。個人の好みもあるけど、すぐに飲み込めないアンパンはやめてほしいと言われていた。廊下でモップ掛けしている囚人に小さい声をかけ、紙パックのジュースはストローがないので、穴を空けて、押しつぶして中味をとばして飲ませていた。もっと強者もいた。ようかんは1本18cmも長かったのですが、丸ごとほしいという囚人がいて、ゴミ回収のとき、看守の前で洋かんを包んだ古新聞の束を出して、看守のいないところでそいつがようかん一本を丸飲みしていました。もちろん見つかりと罰せられるし、出所も遅れるのです。それでもやってしまうのです。そしてバレると調査になってしまうのですが、一種の私刑ではあるが、人通りの多い中央部にゴザを敷き、そこに盗み喰いをした囚人が真冬に裸足で土下座し、未決の人が通ると、泣きながら、私は盗み喰いをしました、規律違反しました、もう二度としませんと何百回も言わされたりした。今じゃ考えられないことですね。

※薬局：薬物の売買をするところ

Part III

どうも小菅の1970番です。昔の東拘のつづきですが、建物がボロすぎて、扉は戦前の木製で、下の方に鉄板の換気口があった。就寝中に足を伸ばすと、その鉄板に当たって、落

としてしまうこともあった。そうなると看守はトランシーバーを持って、その房の前にパイプ椅子を置いて、一晩中ずっとそこを見張るというのもあった。ネズミが常に大量発生していて、敷地内にそのためなのか、猫もいました。再犯房に入ってから知ったのですが、猫たちに名前があった。全部鬼平犯科帳シリーズに登場する密偵の名前でした。でもボス猫だけは五鉄という店の名でしたね。ネズミは菓子はもちろん好物ですが、困ったことに石けんも大好きで、しかも石けん箱まるごと盗んでいくから、人間のほうは員数が合わなくて怒られた。ネズミがデカくて、トイレから昼間でも顔を出してきて、キーキー鳴いてから去るから、人間に何かを伝えたかったんだろうね。ネズミはまだ遠慮してくれるものだけど、ゴキブリはずうずうしくて、独居でもひと部屋に100匹以上はいた。北舎なのか南舎なのかよく覚えてないけど、独居で1階と2階が使われていて、3階は青カビで崩落寸前で、ほぼ使用禁止でした。俺は2階にいて、部屋に入ると、奥の窓は昔の鉄道のような造りで、しかも出窓の回転式、錆びて回転しないけど、触わると窓が落ちるものでした。その窓の前の左側に和式便器が洋式の高さに固定されていて、その上に木の箱が被せてあった。便を足すときは木箱の上のフタを上げて、そして普段はフタをしめて、それを椅子としていた。窓の真下はコンクリート製の流し台で、ここにもフタがあり、洗面が終わるとフタをしめて、ここを机にしていた。で右側は奥長の棚で、ここに菓子をに入れていた。網が付いていてネズミ避けになるけど、ゴキブリ対策にならなくて、菓子を早くたべない

とゴキブリに先にたべられることも多かった。今からわずか20年前の話ですが、すでに当時ですら地方から来て、刑務所に入った人たちはこの話を信じませんでしたね。シャバの人らが信じないのはまだしも、ムショの面々でも信じない人が多かった話です。あなたは信じますか？で今の東拘に目を向けると、ビフォーアフターの差がすげえ。まず10何階建ての建物に、おそらくネズミは一匹もいないでしょう。窓には厚さ1cm以上のアクリル防弾ガラスがあって、触わってもけっして落ちません。トイレは洋式でももちろん水洗。流しがまた大きくて使いやすい。刑務所にあるあるの目隠しついても健在でありました。でも知ったかぶりで衣服カバーを買ったのですが、今のカバーは入れ物として使えず、カバーとして使えないので意味は無かった。昔みたいにこのカバーを壁に吊して、ギリギリになるまで衣類を積み込み、石けんも大量に入れるという使い方はできなくなっていた。代わりに黒いスーツケースを支給された。他に脱衣カゴが一つあって、ここに宮物の服を入れるのですが、1970はオール私物で、今そのカゴには目いっぱい菓子が山のように積み上げである。ムショじゃ泣いて喜ぶ甘いものだらけですが、未決の今はそれほど喜べません。20年前と変わらずにある食べ物キャラメルコーンとコイケヤのポテチですかね。あとチョコパイですね。購入できるものも変わってカップヌードルのミニも買えるので、もちろん買ったけど、支給される食事がうまくてカップメンをたべるヒマもないのです。まじで、ごはんは熱くもなく冷たくもないので良いし、汁物はほぼアツアツでおいしい。唐辛

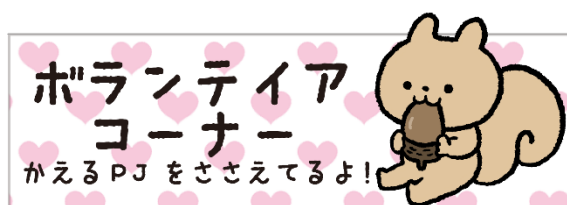
子もコショウも使われるようになって辛いのも出るようになりました。これでも文句を言う人がいたら、俺は怒るね。昔と変わらないのは差入れ屋のチョイスね。甘い物が多くて味覚がおかしくなる。それで甘い物を入れなくてと業者に言うと、フルーツと缶詰が多くなって、りっぱなデカいりんごを毎日2個みかん10個も入れられると、りんごを見るのもいやになってくる。個人的には購入のほたて塩焼き(6個入り)¥373とうずらたまご¥323が大好きで、一回の購入は3000円までと決まっていますが、必ず買っています。差入れのNo.1は「むき甘栗」と「味付ゆでたまご」かな。ほぼ人生で初めて「ニューコンミート」というものを食べたのですが、うまい! 反対にまずいのはレトルトのやきとり。これが汁多なのに肉がパサパサでたべれない。メロンの缶詰も健在でやはりクソまずかった。ここで「コーヒー開缶報知器」とラジオで買ったので、インスタントコーヒーを入れて、一服します。

PartIV

1970番入ります。もう言う必要はないのに認知症のおっちゃんは今日も元気にムシヨ風に××番入りますと叫んで入室している。ついでだからルールのお話をしますと、今はずもユルいです。1970番は布団こそ畳みますが、床には菓子だらけで片付けもできません。流しのほうには缶詰コーナーがあり、壁沿いにはとんがりコーンとカレーが整列していて、グラビア雑誌のお気に入りページを3冊分広げてポスターのように常時掲示。枕元にあたるのは脱衣カゴで、ここも菓子だらけ。真上の入り口には廃棄予定の新聞と雑誌があり、

生け花があって、食器からコップにジャムにタッパにパイの実に6Pチーズにガムにうずら玉子にほたてにコンビーフにアップルパイにショコラにソフトケーキにチョコパイに男梅にマヨネーズと。小机は中央ではなく、食器口側の壁寄りとなったから、ここに真紅の豪華座布団があって、西川の毛布は、一枚2万円はするけど、2枚もあって。ふわふわの私物の布団がまだかさばって、その上にもエロポスター。小机の周りもエロ本だらけで24時間しまうことはない。これってさ、1970番だけかな? と気になって、外に出るときにわざわざメガネを差入れさせて、よその部屋も見てみた。というのも今の東拘の独居は廊下両側に部屋があっても、アクリルにフィルムを貼られて、お互いは廊下を見ることはできても、向かいの部屋のアクリル板を通すと中は見えなくなるのです。偏光フィルムですね。で他の部屋を見たら、さすが再犯ブロック、どの部屋もザ刑務所と言う位きれいに整理整頓されている。可能性として、まずはルールがユルくなっても告知しないから、未決でも自主的に刑務所ルールできれいにしてしまう性がある一方、1970番みたいに勝手に解禁して怒るのも面倒とか。どこでもやりっぱなしの1970番でしたが、ここでは怒られる場面はほぼゼロ。というかワンフロア60数名で、怒られているのは1名のみ。そいつは夜中でもドンドン叩くイカれた奴で、会えば俺も殴りたいやろうです。強いて言うなら掃夫の言葉遣いが気になるレベル。ゴミ出しのときに燃えるゴミと燃えないゴミに分けてくださいと告知されても、こちらは初めてだから、燃える燃えないの基準も分からないわけで、そ

れで扉が空いたときに看守に聞いたら、ちゃんと分けてくださいねと掃夫に言われて、カチツときたね。このやろう、そんなのは分かってるけど、詳しく分けられないから質問してんじゃん!? 中間ってあるじゃねえかよと目付きを変えて言ったら、即止められた。やばい、すでにサツで公妨が一回ついてしまったので、気をつけないと本件の前に公妨だけでもテンパイしてしまうよ。くわばら、くわばら。



出番と居場所

南 麻子

はじめてほんにかえるプロジェクトのボランティアに参加させていただいたのは2022年3月頃です。もう2年も経つのですね。

当時私は、大きな病気をして声を失い(声帯を取りました)、家の中でちょっと鬱々とした気持ちで日々を過ごしていました。でもこれじゃいけないと思い、何か家でできることはないかなとネットで探して、ほんにかえるプロジェクトに出会いました。

そこからボランティアとして参加し、たくさんの会員さんと出会いました。(お手紙のやり取りだけです)

お手紙ではご自分の近況を知らせてくださる方や、昔の仕事の話、学校でやっていた部活動の話、そしてご家族の話など、皆さんいろいろな話を聞かせてくださいます。

私はその手紙に返事を書く時が一番楽しい

です。直接お会いすることはできないけれど、私の心が少しでも届きますようにという気持ちで返事を書いています。

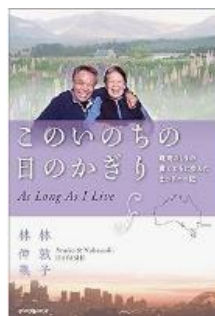
書くことは私にとってはとても大切なコミュニケーション手段です。やり取りを通じてそこに確かな繋がりを感じることができるのです。

ほんにかえるプロジェクトに出会わなかったら、私は話ができないことにもっと悲観的な気持ちで日々を送っていたかもしれません。文通という手段を通して人とつながり、心が満たされていくことに、今は喜びを感じる日々です。

「すべての人に出番と居場所のある社会」これは最近よく聞く言葉ですが、本当に大切なことだと私も実感します。私も取り残され、世間の人々と隔絶されたような気持ちになっていましたが、ほんにかえるプロジェクトが私に出番と居場所をくれました。本当に感謝しています。

これからもほんにかえるプロジェクトでの活動を精一杯がんばっていきたいと思っています。プロジェクトのスタッフの皆さん、会員の皆さん、本当にありがとうございます!

本の寄付をいただきました。



著者のお一人、林伸義さんから今は亡き奥様と共に書かれた本を200部いただきました。

今回は、著者のお気持ちに感謝して、ガチャ本NGの方も含めて全員にお送りします。

感想を書いてくださった場合は、林さんにメールでお伝えいたします。

ほんにかえるプロジェクト2022年度決算報告
2023/9/30

<収入>

前年度繰り越し	645,759
購入代行寄付	834,750
内部会員会費	140,000
寄付（会費・寄付）	653,003
本と切手の販売	18,800
合 計	2,292,312

<支出>

事務局家賃	360,000
事務局光熱・水道費	88,525
慶弔費	30,000
通信費(含ネット回線使用料)	358,712
印刷費	133,010
事務機器購入	69,800
支払手数料	19,271
事務消耗品	100,935
雑費	24,830
プリンターズ 原稿料・募金	78,928
出所者・その他支援	401,794
預かり金切手買い取り	204,792
小 計	1,870,597
来年度繰り越し	421,715
合 計	2,292,312

2022 年度、決算報告がすっかり遅くなって申し訳ありません。

2022 年度会費は 2023 年 9 月に差し引かせていただきました。2023 年度会費が未納な方は、6 月ごろに差し引きさせていただく予定です。

かえる PJ は 9 月決算なので、2023 年度は 2023 年 10 月～2024 年 9 月です。2023 年度の決算報告は、2024 年中にご報告できるように頑張ります。

事務局からのお知らせ

高額書籍の購入代行寄付について

これまで、「高額な本の購入代行寄付を安くしてほしい」というご提案を度々いただきました。そこで検討した結果、1 冊につき書籍代+送料の合計額が 4000 円以上になるときは、購入代行寄付を一律 1000 円とすることにいたしました。これはあくまで 1 冊の購入についてのごことで、セット購入、雑誌の定期購読などには適用しません。



皆様、お元気でお過ごしですか？

今年は桜の開花がいつになるか…とずいぶん話題になりましたね。皆様のお越しの地域ではいかがでしょうか？

教会では今年 3 月 31 日が復活祭(イースター)でした。復活祭はイエスが十字架上で殺され、三日目に復活したことをお祝いします。イエスの復活のお陰で、十字架は残酷な処刑道具から希望を意味するものになりました。イエスの弟子たちはイエスの処刑の時は怖がって皆、逃げてしまいましたが、復活したイエスと出会って聖霊を受けて、新しく生き生きとした人生を送りました。不思議ですね！人間は皆、弱くて間違いばかり。私も毎日、失敗ばかり…。自分の力だけでは限界があります。でも神様に助けていただくと、心折れずに新しい自分を生きることができるのです。この新年度、皆様に神様の祝福が豊かにありますように祈ります。

誕生カード担当 M・ロザリア綾

お送りしたバースディカード



1月2月



3月4月

編集後記

汪さんのことを気遣って、お手紙たくさんいただいています。画期的なご報告はないのですが、わんレターがたつぷり届きました。

ところで、乳液、化粧水等の指定メーカーが「ウテナ」という施設があるらしい。「えっ！その会社、まだあったんだ」と、私は 60 数年前にタイムスリップ、懐かしさでいっぱいになりました。

小学校低学年の頃、母が使っていて、しかも工場が比較的近所で、母が運転する車でよく通る場所にありました。「ママが使っていた乳液」を、皆さんが使うようになるなんて！（S）

ほんにかえるプロジェクトは外部会員（受刑者以外）を募集しています。正会員の年会費は 3000 円。寄付もお待ちしております。

振込先

ゆうちょ銀行 10160-86239211

他行からの場合

ゆうちょ銀行〇一八支店

（普）8623921

口座名義：ほんにかえるプロジェクト

| 23

ボランティアスタッフを募集しています。

在宅のままでもできるパソコン入力と文通スタッフが特に不足しています。自宅の住所を公開する必要はありません。プライバシー保護に細心の注意を払っております。

プロジェクトの活動資金の捻出の一環として小冊子を販売しています。

「**我的童年**」（私の生い立ち）

（A5 サイズ 88 頁）500 円

「**獄中書簡集**」

（A5 サイズ 82 頁）500 円

「書簡集」は在庫が無く、増刷予定中。収益は全額支援活動に充てます。

かえる PJ の送付物には、リストに掲載しなかった**ガチャ本**を同封することがあります。不要な方はご連絡ください。送らないように気をつけますが、もしも間違えて送ってしまったときはお許しください。

発行所

〒134-0003 東京都江戸川区春江町
5-15-31

ほんにかえるプロジェクト事務局
電話 080-1048-3592